

▼別ショットの写真



今月の表紙は、10月11日(水)に町民会館つばきホールで開催した、長崎県原市との姉妹都市提携調印式での1枚です。姉妹都市提携書に調印後、島原市旗と幸田町旗の交換を行いました。調印式の様子は今月号の裏表紙でもご紹介していますので、ぜひご覧ください。

今月の表紙

みんなの広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報グループ
☎62-1111(内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp

こうたの文化財

高力・鷲田地区

* 諸説あり

高力神明宮

高力神明宮は永祿・天正年間(1558~1569年・1573~1591年)に高力安長・清長・正長の歴代当主に崇拜されており、高力城主の寄進により建立されたと考えられます。祭神は天照大御神ほかとして、代々の武運長久が願われました。1872年(明治5年)に高力村社となり地元の人たちから信仰を集めています。神明宮には高力高長が1659年(万治2年)に作らせた大太刀が奉納されており、町指定文化財になっています。



(所在地: 高力字熊谷67)

東部城跡

東部城は三浦氏により築城され、その後松平家忠により修築された城館です。今の市杵島神社の北にある小高い丘は城内にあった物見やぐらの跡であると言われています。



(所在地: 菱池字東部・字城山地内)

みんなの作品展!

応募作品



岩月 敏夫 さん

「読書感想画展」からのセレクトです



中央小5年
朝岡 舞衣 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

昆布の歴史はあまりに古く、確かな記録は残っていません。鎌倉中期以降、昆布の交易船が北海道の松前と本州の間を盛んに行き交うようになり、海上交通が盛んになった江戸時代には「天下の台所」大阪まで運ばれるようになりました。昆布を運んだ航路は「こんぶロード」と呼ばれ、江戸や九州、琉球王国(沖縄)、清(中国)へと伸びていきました。

「こんぶの日」にはこの時期、その年に収穫された昆布が新昆布として市場に出回ることから、海からの贈り物として感謝する気持ちも込められています。日本の食文化に貢献してきた昆布はこれからも、良質な食品として家庭の食卓に並ぶことでしょう。

11月15日は「七五三」。この日のお祝いに、育ち盛りの子どもが栄養豊富な昆布を食べて元気に育ってほしいという願いや、昆布を食べる習慣をつけてほしいという思いが込められています。

日本では「よろこんぶ」に通ずることから、縁起物として祝儀などに用いられています。昆布は栄養学的にみても大変良い食材と言えます。なんといってもミネラルが豊富で、ビタミン、食物繊維も多く含まれています。昆布はアルカリ性食品としても優れており、酸性に傾いた体をアルカリ性に戻す働きもあります。

今月の記念日

* 参考資料: 一般社団法人 日本昆布協会 <http://www.kombu.or.jp/>



青春 トークリレー
第296走者

いしかわ しゅんすけ
石河 俊佑 さん

里区在住 20歳 職業 会社員
血液型 O型 身長 172cm
好きなタイプ 特になし
好きな芸能人 Mr.Children

私は小さい頃から好きであった自動車に関わり、好きなことで人の役に立てる仕事がしたいと思い自動車部品メーカーに就職しました。今は自動車の発電機・モーター制御適合を行っています。まだまだ知らないことが多くあるため、周りの人たちに助けられることが多々あります。その度に人脈作りの大切さを感じます。私は趣味であるサッカーを通じて多くの人たちと出会うことができました。趣味で知り合った人たちにも支えられ、仕事もプライベートも充実した日々を送ることができています。これからも若いうちにしかできないことにたくさんチャレンジして自分で人脈をつくり、道を切り開いていける社会人になりたいです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課までご連絡ください。
本人のご家族にお渡しできます。



楽しかったね！消防署
9月下旬、年長の子どもたちは、消防署へ見学に行きました。
初めて近くで見る本物の消防車、救急車に大興奮！

「某月某日」
「豊坂保育園」
わんぱくぐだより

さらに、優しく、カッコいい消防署の人たちにドキ！（笑）
目を真ん丸にしながらかっこいい消防署の人たちにドキ！（笑）
はしご車やポンプ車の説明を聞きました。
防火服を着ると、すっかり気分は消防士。重い防火服とヘルメットに戸惑いながらも誇らしげでした。
はしご車は、長く伸びるはしごに、「おー」と大歓声。
ポンプ車は、放水前と放水中のホースの変化に「すごい固くて重いよ〜」と、驚きの声が・・・。

そして、見学中にサイレンが鳴り突然の出勤。緊張感を感じ、まさに働く消防士さんの後ろ姿を見せていただきました。
「かっこいいね♡」
「楽しかったね！」
と、大満足でした。
消防署の皆さん、お忙しい中、ありがとうございました。



編集者の
ちよと
ひょうりん

こんにちは！編集者のHです。秋も深まってまいりましたが、みなさんは秋と言えば何を思い浮かべますか？食欲の秋（筆柿ならいくらでも食べられます）、読書の秋（広報こうたを読んでください）、いろいろありますが、今回はスポーツの秋からの話題をお届けします。
9月に行われた小学校体育大会へお邪魔しました。1000メートル走では、グラウンドの中で選手に向かって必死に声援を送る先生の姿がありました。各種目でも、テントで待機している選手たちが一丸となって選手に声援を送っていました。1人の選手を仲間全員で応援していて、チームとしての素晴らしさや、仲間思いの優しさを感じました。走り高跳びでは最後の1人が記録に挑戦する時、その学校の選手だけでなく、会場中の人々が固唾を飲んで見守っていました。誰かを応援してあげたい、そして応援された人も誰かを応援してあげる、そんな優しさの好循環があつてみんなが笑顔になれたのだと思います。
人にやさしくすることで誰かに頑張らせてもらえると思っています。私もエールを送らせていただきます。頑張れ！（H）